

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和3年度分）

事業の方向性	事業名	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和3年度活動指標	実績		活動状況評価 (各部会評価)	活動状況評価 (企画・運営委/理事会)	事業計画 達成状況	R3年度の 達成状況評 価	評価理由	今後の対策等（令和4年度事業計画）	全体 評価	
1. 高等教育機関の教育・研究の充実のための基盤整備	進学ガイダンスセミナー事業	コンソーシアム加盟教育機関による模擬授業の開講と、各大学入試担当者による進学相談コーナーを開設による高校生の進学に対する疑問や質問を解消する取組みを実施する。保護者・高校教員向け講演会も実施し、多面的な進学支援を行う。	県内進学者の増加と県外からの進学者の導入（課題アイウエ）	県内進学率50%以上 県外からの進学者2,500人以上	模擬授業数26講座 進学ガイダンスセミナー参加者数1,150人	オンラインで実施 (8/2～9/30) 模擬授業 36講座開設 アクセス数 (ホーム1,025、模擬授業491、学校紹介動画662、進学相談情報61、オープンキャンパス情報88)	達成1 未達1	コンソのホームページでオンデマンド開催	B	B	達成1 未達1	B	新型コロナ感染症拡大の影響によりオンラインによる開催とした。模擬授業は活動指標を大幅に上回る36講座が開設できたが、ホームページのアクセス数が参加者の指標を下回ったためB評価とした。	令和3年度はコロナ感染症の影響で初のオンライン（オンデマンド）で約2か月間に亘り開催した。今年度は、今後の新型コロナ感染症の流行の状況にもよるが、崇城大学を会場に7月10日（日）に参加者数を制限する形で、感染対策を取って模擬授業や相談コーナーを開設し、開催を計画している。	
2. 地域の行政や産業界と連携	インターンシップ連携事業	次代を担う熊本県内の高等教育機関の学生が、熊本県内の企業や団体等の職場において就業体験を実施することにより、地域経済や企業活動への理解を深め、就職意識の醸成・向上することを目的として実習プログラムの内容はオリエンテーションや経営陣との懇談、配属部署内での職種体験、実習の講評や実習生の発表を行う。	産学官連携の機会の増加（課題カキクケ）	産学官連携に基づき取組みの活性化 取組み件数4件 キャンパスバリアの講座数50%以上増 教育のあり方に関する協議の実施 年度内に3回実施 教育機関の連携事業5件以上	受け入れ先企業・団体／派遣実習生数 夏季110社・春季60社 夏季250人・春季50人	夏季 8/12～9/17 オンラインで実施。 受入企業等数 17社 派遣実習生数 127名 春季 2/14～3/21 オンラインで実施 受入企業等数 14社 派遣実習生数 105人	達成0 未達2	夏季は、当初からオンラインでの実施を計画した。受入れ企業・団体でオンラインに対応できる場所が限られたため、企業数は17社となった。また、春季においては、当初対面による実施を計画したが、新型コロナの流行拡大により急遽オンラインに変更して実施した。オンライン実施の効果として1社あたりの受入れ人数が増加した。	B	B	達成2 未達2	A	本目標に関する3件の事業において4つの活動指標が設けられており、達成2、未達成2であったが、活動指標以外の新規事業として、地域課題解決のための企画事業としての政策アイデアコンテストと、熊本を深く知るための企画事業としての講演会、シンポジウムを開催したため、総合的にA評価とした。	新型コロナウイルス感染症の状況を考慮しつつ、対面、対面とオンラインの併用、オンラインのみでの実施など、受入れ企業・団体等の意向も聞きながらインターンシップを実施する予定である。実習先については業界バランスを考慮した受入企業・団体の開拓、多職種にわたるインターンシップを実施したい。併せて、マッチング成立件数を上げ、低学年（特に2年生）の参加を増やすためにも、参加大学と連携して、インターンシップ連携事業の周知に努めたい。 なお、成果発表会についてはオンラインでの開催を原則としているが、可能な場合、大学施設を活用した開催も検討する。	
	キャンパスバリア	熊本県生涯学習推進センターが主催する、一般市民向け開講の、くまもと県民カレッジリレー講座「キャンパスバリア」において、加盟機関から教員を派遣している。所属機関の特色を出し、一般市民の興味を持つテーマの講座を開設する。			3年度は全て動画（オンデマンド）配信により実施（～3/31） 視聴回数 2,952回	達成1 未達0	熊本県生涯学習推進センターの依頼により9機関から10動画（オンデマンド）を提供した。	A	A	今後も加盟機関に対し、特色を出した魅力ある講座の開設を依頼する。					
	教育のあり方に関する協議	加盟教育機関と熊本県・熊本市などの自治体とで、熊本県の教育政策とコンソーシアムの事業との整合性や共同の取組みについて協議する。地域に必要な人材像や地域の課題について認識を共有する。			協議の実施回数3回	達成1 未達0	企画・運営委員会の開催に併せ開催した。	A	A	年間3回の開催を計画している。					
		【新規事業】 地域課題解決のための企画事業			(活動指標なし)	S	S	今年度も昨年度に引き続き、熊本県、熊本市から「地域課題」を設定いただき、5月末のエントリー締切、10月の提出バッチを経て、11月に発表会及び審査会を開催することで準備を行っている。							
		【新規事業】 熊本を深く知るための企画事業			(活動指標なし)	S	S	今年度も昨年度に引き続き、熊本を深く知るための企画事業として、講演会の開催を計画している。							
3. 地域社会の教育・文化の向上・発展	ワンストップ窓口業務	留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話すサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点として活動する。	国際交流の活性化（課題オ）	留学生の受け入れ態勢強化・留学生数増加に向けた誘致戦略の検討 留学生受け入れ数 1000人	ワークショップ開催 3件 オンライン交流会 13回開催 コラボカフェ 3件	ワークショップはコロナ禍により3回の開催となったが、代替事業として、コラボカフェの他、オンラインでの留学委交流会を13回開催した。	達成1 未達0	A	A	達成4 未達3 非評価1	B	本目標に関する6件の事業において8つの活動指標が設けられていたが、達成項目4、未達成項目3とし、熊本市主催の「おもてやん総踊り」への参加については、主催者側の判断に中止となったものであり、評価しないということにした。新型コロナ感染症の影響により計画通りには実施することができなかったが、実施方法を変更して実施にこぎつけたものもあり、一定の成果を上げていると思われる。本事業における取組を楽しみにしている学生もあり、特に留学生に対しては極めて有意義な事業であることは間違いないと思われるが、対面や集合してのイベントの開催がむずかかったこともあり、本テーマにおける評価はBとした。	留学生の相談受付、ワークショップの開催、国際交流振興事業団主催の留学生と話すサロンへの在学留学生の講師派遣など、熊本県内における留学生情報や事業活用の拠点としての活動を継続して行う。関係機関と連携し、県内企業への就職を目指す留学生の後押しをする。		
	SNS等を活用した留学生ネットワークの構築	熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的に、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報発信を行う。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、生活やイベント情報を効果的に発信し地域への活動への参加を促す。			アクセス数 22,000件 コミュニティ参加者数 550人	アクセス数 11,825件 コミュニティ参加者数 605人	達成1 未達1	アクセス数は活動指標に到達できなかったがコミュニティ参加者数は活動指標を上回った。	B				B	熊本への留学を希望する学生を増やすことを目的として、留学生同士のネットワークを利用し、熊本の大学の魅力を伝える情報を発信する。在学留学生に対しては、熊本への愛着を深めることを目的とし、熊本の生活やイベント情報を効果的に発信し、地域への活動への参加を促すことを計画している。また、平成27年度から実施している「熊本県内外国留学生の生活状況アンケート」について、熊本県内全体の留学生への支援のあり方を検討することを目的として、住宅やアルバイトなどの生活状況や、日本での就職に関することについて今年度も継続して調査する。	
	留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー	九州地区の日本語学校等で勉強している外国人留学生に対し、熊本の大学を見学してもらい熊本で学ぶことの良さを知ってもらう。事業の周知及び情報収集を目的として、九州内の日本語学校を訪問し、県内大学への留学生の誘致活動を行う。		参加者数80人 日本語学校の訪問数12校	10/17 オンライン開催 参加者数 11人 日本語学校訪問は1校訪問 郵送・メール・電話により案内 県外17校、県内6校	オンラインによりツアーを開催した。日本語学校訪問はコロナ禍により1校のみとなったが、郵送・メール、電話等により県外17校、県内6校に誘致活動を行った。	達成1 未達1	B	B	今年度は昨年度に引き続き「留学生のための“学モン都市クマモト”ツアー」はオンラインでの開催を計画しており、県内大学への留学生の誘致活動を行う。また、日本語学校数の多い福岡県で実施される留学生向けの進学相談会へ参加し、県内大学について紹介を行うとともに、郵送、メール等による誘致も併せて行う。					

大学コンソーシアム熊本中期計画（2019～2023年度） 自己点検評価表（令和3年度分）

事業の方向性	事業名	事業内容	熊本の高等教育機関の課題	課題解決に向けての達成目標	令和3年度活動指標	実績		活動状況評価 (各部会評価)	活動状況評価 (企画・運営委/理事会)	事業計画 達成状況	R3年度の 達成状況評 価	評価理由	今後の対策等（令和4年度事業計画）	全体 評価		
						達成	未達成									
3. 地域社会の教育・文化の向上・発展	多言語による情報発信	HPの英語・中国語・韓国語に翻訳して掲載しているが、加盟機関のHPとリンクさせ、各機関の情報を海外に向けて発信できる体制を構築、継続する。 日本語・英語・中国語併記のリーフレットを作成し、各機関の協定校や海外オフィスでの配布を依頼し、福岡地区を中心に九州の日本語学校にも配布する。	国際交流の活性化 (課題オ)	留学生の受け入れ態勢強化・留学生数増加に向けた誘致戦略の検討	リーフレットの配布先45件	58校へ発送	達成1 未達成0	福岡地区を中心に58校に発送した。	A	A	達成4 未達成3 非評価1	B	本目標に関する6件の事業において8つの活動指標が設けられていたが、達成項目4、未達成項目3とし、熊本市主催の「おてもやん総踊り」への参加については、主催者側の判断に中止となったものもあり、評価しないということにした。新型コロナウイルス感染症の影響により計画通りには実施することができなかったが、実施方法を変更して実施にこぎつけたものもあり、一定の成果を上げていると思われる。 本事業における取組を楽しみにしている学生もあり、特に留学生に対しては極めて有意義な事業であることは間違いないと思われるが、対面や集合してのイベントの開催がむずかしかったこともあり、本テーマにおける評価はBとした。	福岡県、熊本県を中心とした九州の日本語学校及び大都市圏の日本語学校に重点的にリーフレットを配布する。	B	
	環境整備活動	本コンソーシアムと地域との連携や地域への協力をアピールするとともに、江津湖湧水清掃等の環境整備活動を通じて「きれいな熊本にする」ことを目標としている。今年度も江津湖湧水清掃を計画し、地域や加盟機関同士の連携を促進する。		留学生受け入れ数 1000人	学生・留学生・教職員の参加200人	学生・留学生・教職員の参加44人	達成0 未達成1	コロナ禍のため、8月の江津湖清掃に代え、コロナの流行が減少した時期の12月に人数を制限した上で、実施した。	B	B						感染状況をみながら、感染防止対策を徹底した上で実施する。そのため、密を避ける観点から、大人数で実施してきた「江津湖湧水清掃」は今年度も中止する。 具体的な内容については、学生企画委員会の協力を得て検討する。この環境整備活動を通して、加盟機関の学生、教職員との交流・親睦を図る。
	地域行事・イベントへの参加事業	加盟機関に在籍する留学生およびその家族、日本人学生・教職員で構成する「大学コンソーシアム連」を結成し、火の国祭り「おてもやん総踊り」に参加する。熊本への留学の楽しさのアピールや、祭りを通じての地域住民との交流を深めることでの国際都市熊本をアピールする。		参加者数80人	イベントが中止となり参加できず	評価せず	イベントが中止となり参加できず	D	(評価せず)	「おてもやん総踊り」を留学生支援事業の一環として参加する。						
4. 教育環境の向上	FD・SD	加盟機関の教職員の資質向上を目的として、現在のところ主にSDを実施している。外部講師による管理職研修、中堅職員研修、中堅職員フォローアップ研修のほか、業務種別ごとに関係する担当者の情報交換の場を作り連携促進も図っている。	熊本の高等教育機関教職員の資質向上に関する取組みの実施 開催件数8件 参加者数150人 男女共同参画に関する取組み 参加者数80人 学生企画イベントへの参加者数 350名	実施件数5件	6件実施 新人職員研修 13名 中堅職員研修 17名 フォローアップ研修 17名 交流会（研究支援） 22名 交流会（IR） 18名 FD・SD（著作権）（オンデマンド） 63名	達成1 未達成0	当初計画の5件に加え、FD・SD研修を熊本保健科学大学の協力により、オンデマンドで実施した。	S	S	達成3 未達成2	B	活動指標を上回るものが1件、達成が3件、未達成が2件ではあるが、事業そのものを中止にしたものではなく、実施件数を削減したり、実施方法をオンラインに変更するなどし、できる限り開催するように努力した。コロナ禍の中であって、活動指標に近い実施を行ったことでB評価とした。	外部講師による「管理職研修」、「中堅職員研修」、「中堅職員フォローアップ研修」及び業種別に関係する担当者の情報交換の場を作り、意見交換を通じて交流を深め、連携を図ることを目的に交流会（2回）を開催する。その他、昨年度初めて開催したFD・SD研修についても継続開催を計画する。	B		
	障がい学生支援連携事業	障がいのある学生への教育サポートの充実を図るため、また、実務担当者が定期的な情報交換や勉強会を実施し連携を強めていくことで、担当者間の一層の連携強化を図る。講習会や講演会など実施し加盟機関の実務担当者のスキルアップを図る。		実施件数3件	4件実施 協議会 7/27 16名 11/29 14名 3/10 13名 勉強会（就職支援） 7/27 18名	達成1 未達成0	協議会を3回、勉強会を1回開催した。	A	A						勉強会や講演会などを開催し、加盟機関の実務担当者のスキルアップの向上と親睦を図り、障がいのある学生への教育サポートの充実に向けていきたい。	
	男女共同参画推進連携事業	男女共同参画、ワークライフバランスの啓発等に資する事業を企画・実施する。また、加盟機関の教職員だけでなく学生の参加も考慮した介護と仕事の両立、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業等にも取り組む。		実施件数2件	1件実施 LGBTsに関する勉強会（オンライン） 9/10 36名	達成0 未達成1	昨年度に引き続き、勉強会を1件しか実施できなかった。	B	B						昨年度に引き続き「LGBTs」をテーマとし、学生の多様性に応じた、進路や就職等の具体的・実践的な支援や配慮について知識を深め、講演会や勉強会を中心に、人権啓発、ダイバーシティの推進に資する事業に取り組む。	
	教員免許更新講習	・当該年度の教員免許状更新講習の実施 ・翌年度の教員免許状更新講習の開設準備 ・「教員免許状更新講習管理システム」の共同運用 ・「受講料収納代行」（コンビニでの収納）」の共同運用		実施件数200件	開講件数 203件 実施件数 169件	達成0 未達成1	200件以上を開講したが、コロナ禍による講習中止に加え、制度自体の廃止が報道されたこともあり、予定していた講習数を実施できなかった。	B	B						今年度は、全大学とも教員免許状更新講習は不開講のため、法律が改正後に部会のあり方について検討を行う。	
	学生交流推進事業	各機関から選ばれた学生で構成する学生企画委員会を設置し、学生自身が様々な企画を立案・実施している。学生の交流の場や新規事業の企画・提案の場としての合宿研修を企画している。		実施件数3件	4件計画3件実施 ①交流会 9/17 12名 ②熊本の方言を集めてみた（中止） ③大学のオンライン授業を受けてみよう 11/20 6名 ④Stayhomeで謎解きゲーム 12/19 8名	達成1 未達成0	活動指標を超えるイベントを企画したが、参加希望者の不足により1件は中止となり実施は3件となった。	A	A						学生交流推進委員会に於いて、今年度の活動方法を検討し、活動内容については、学生企画委員会により内容を検討、企画・実施していく。コロナ禍の状況により、対面での活動が再開できれば、留学生との交流を重視した企画（平成26年度から実施のWAの心でおもてなし）等）や、学生同士の交流・絆を重視した企画、SDGs等の学生による企画も検討していく。	